

★ 操 作 方 法 ★

マンガのページの上でクリックすると次のページを表示します。右クリックすると前のページに戻ります。

※ Macintosh で、マウスに右クリックの設定をしていない方は、キーボードの「control」キーを押しながらマウスをクリックすると前のページに戻ります。

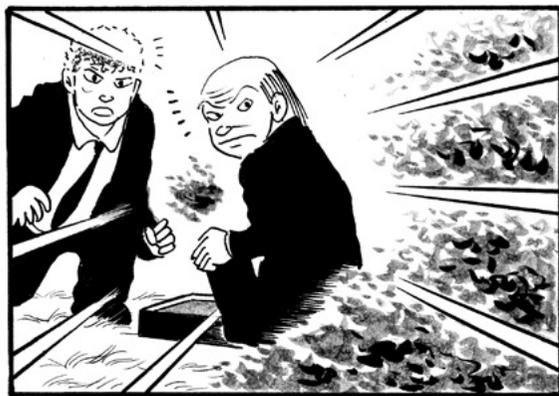
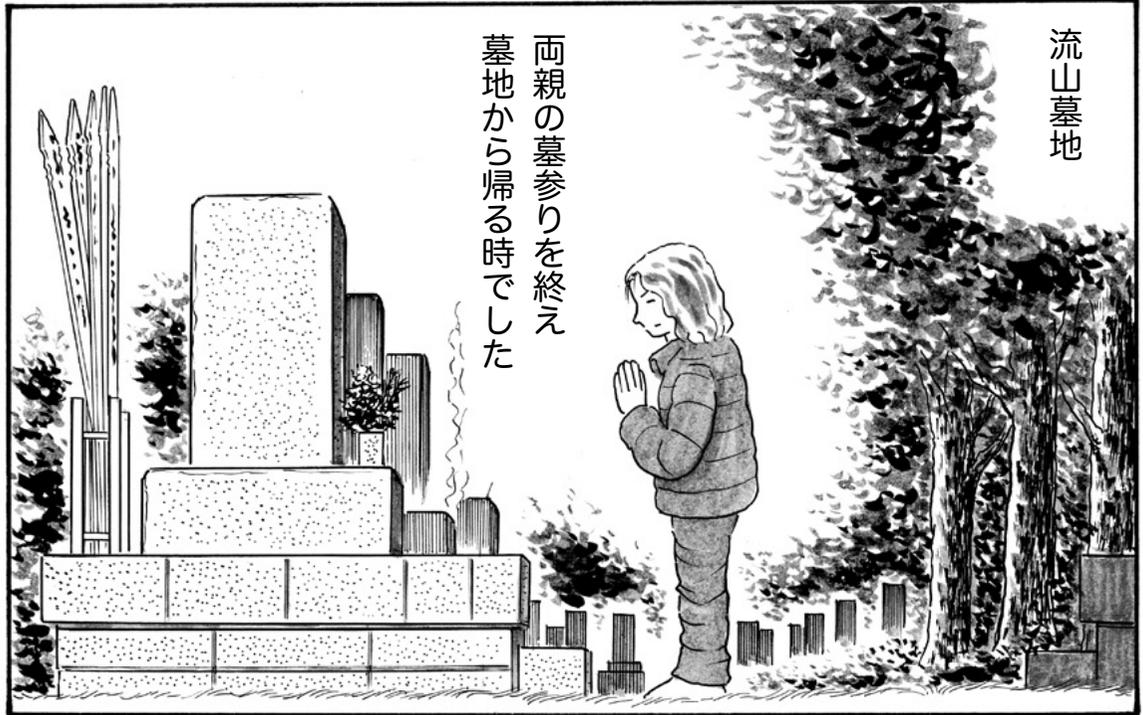
※ iPad では、上下スクロールでご覧いただけます。

Strayer

迷い人

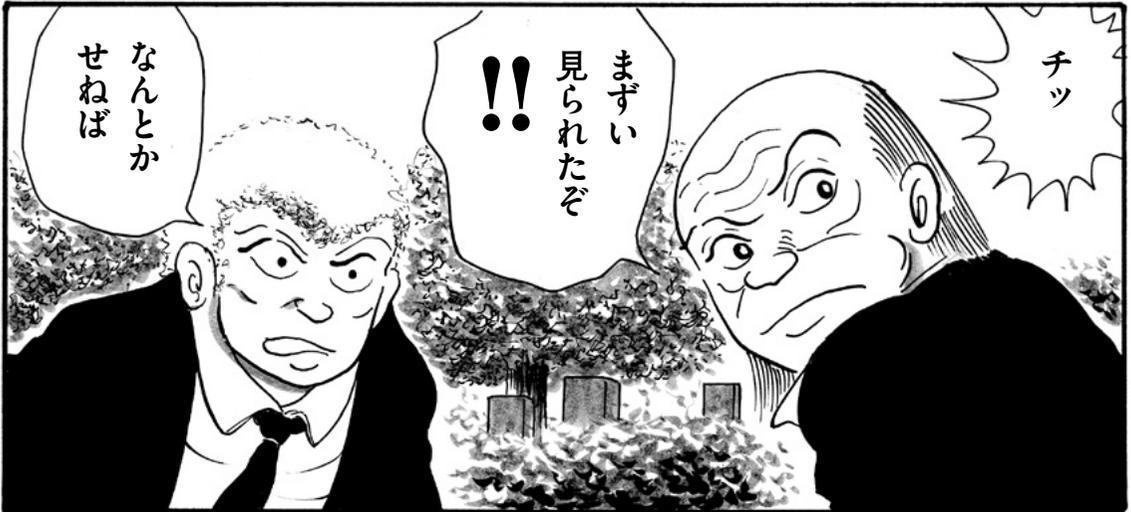
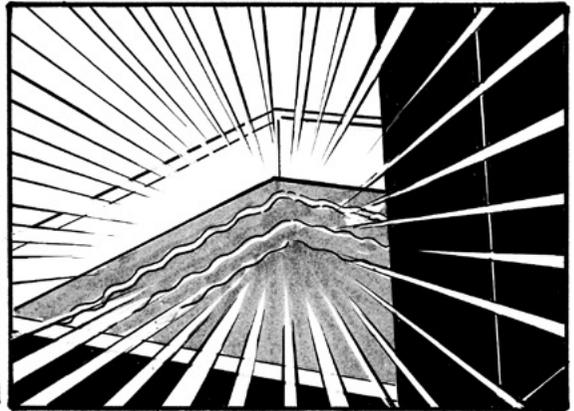


ジャスト・ピッチ





え…



なんとか
せねば

!!!
まずい
見られたぞ

チッ



なんか
やばそくな
雰囲気

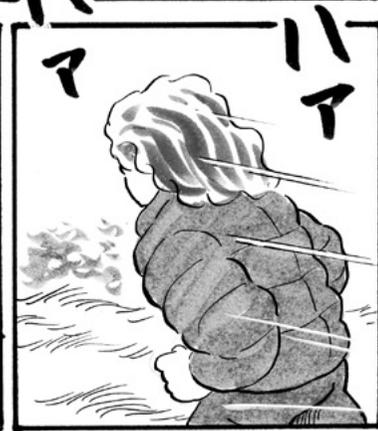
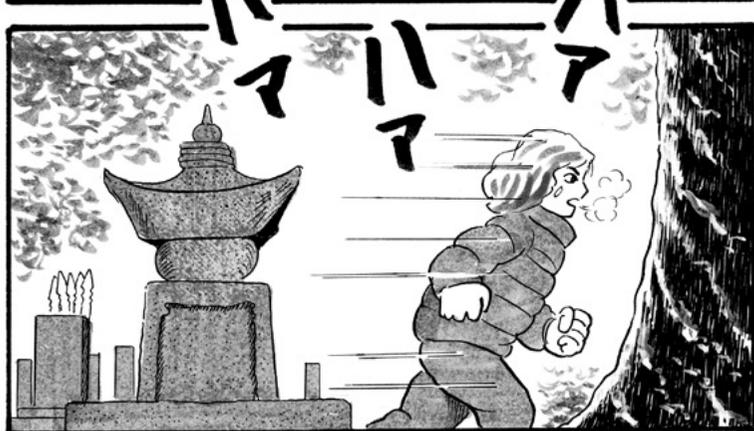


あの青年を
逃がすな



逃げよっ

僕はその場所から
無我夢中で逃げた







分かり
ました



まさか殺す
わけにはいかんだろ
早くやれ!!

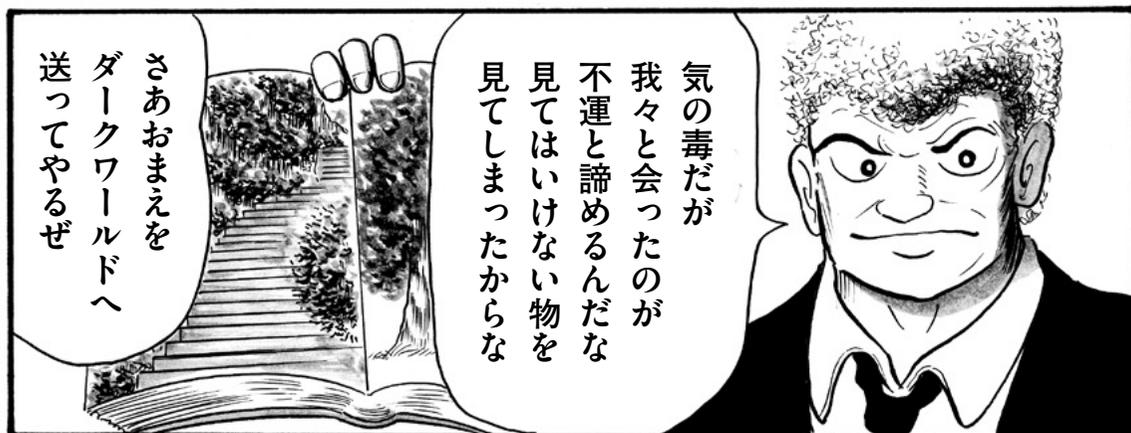


クソ
僕をどうする
気だ!?



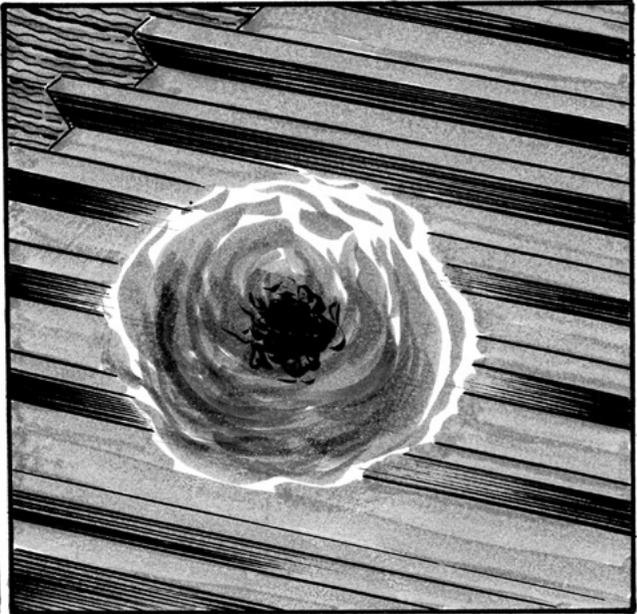
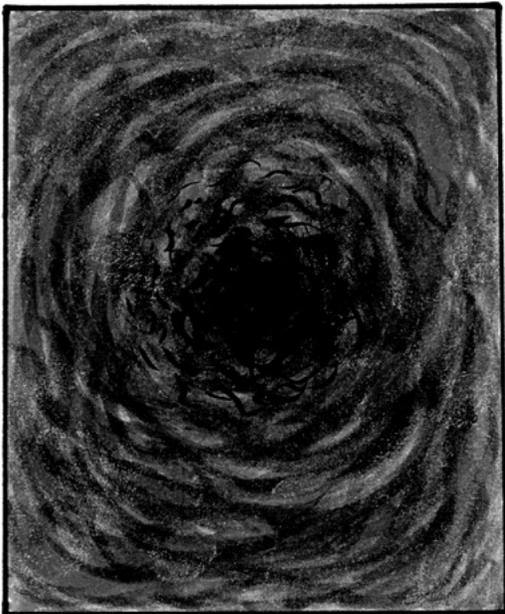
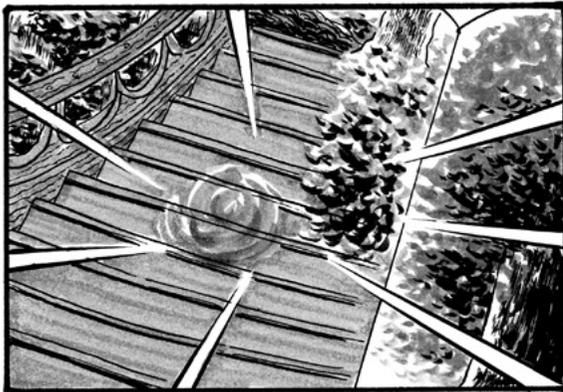
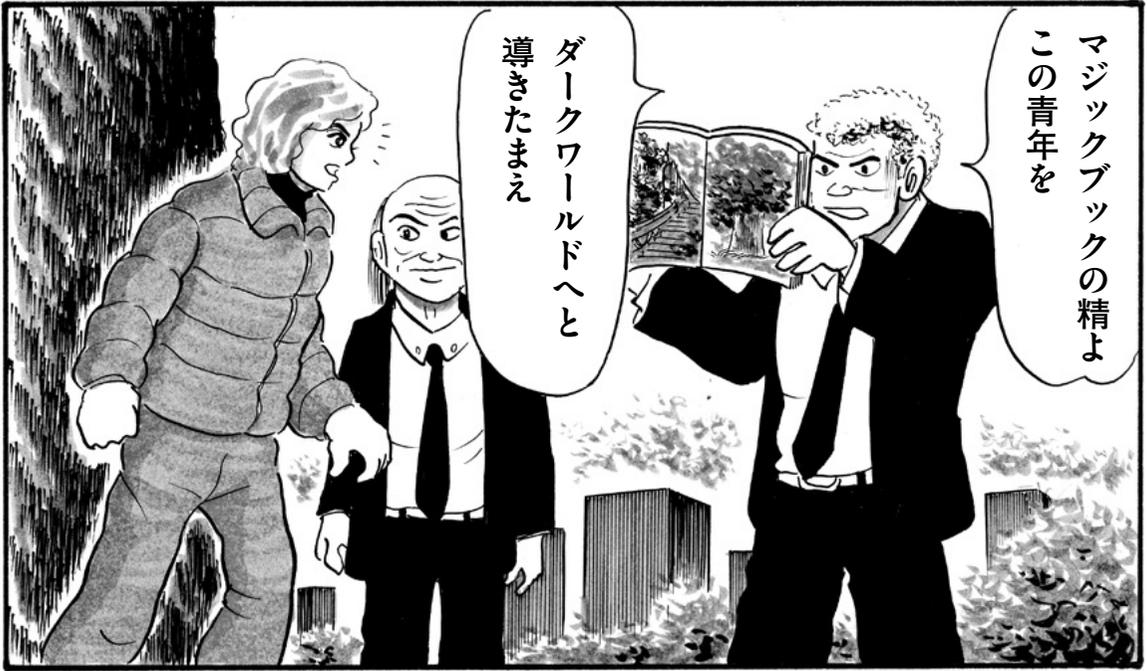
か・体の
自由が
効かない

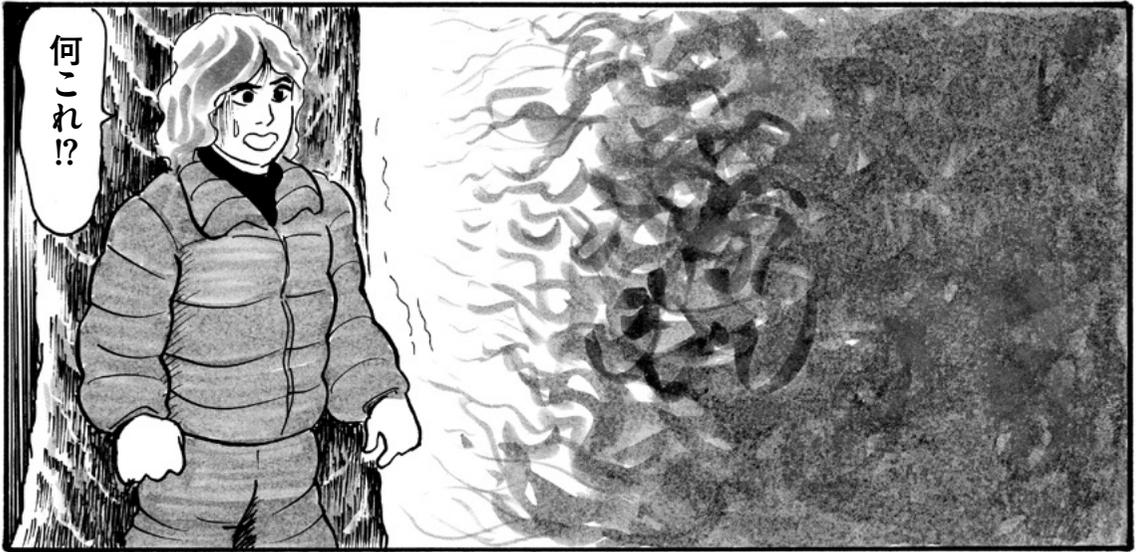
メッ

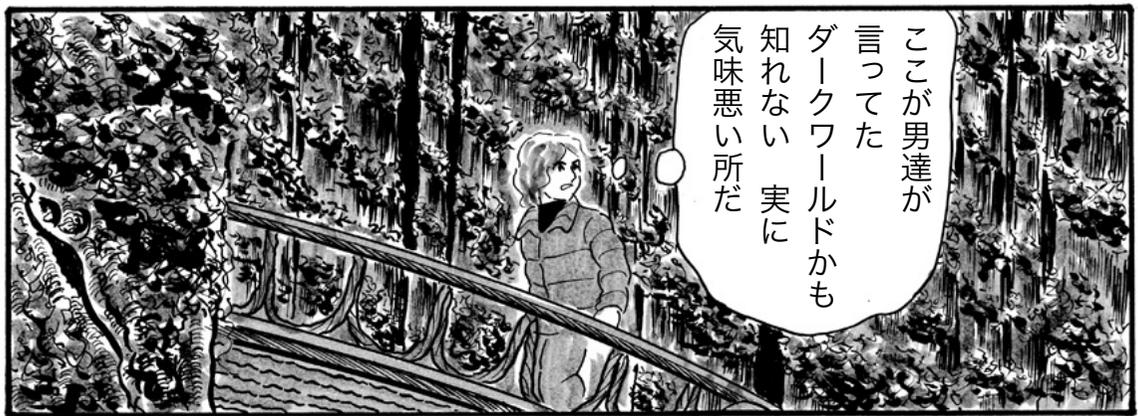


気の毒だが
我々と会ったのが
不運と諦めるんだな
見てはいけない物
を見てしまったからな

さあおまえを
ダークワールドへ
送ってやるぜ









ようこそ私の館へ
歓迎いたしますわよ

私の名は
ヘレン

来たくて
来たんじゃ
ないけど

男二人に
無理やり来させ
られたんだ



二人は私の
忠実な
部下なの



どうぞ
こちらへ
いらして
下さい





天上一面に
青い星が
輝いていた

なんとキレイな
星なんだろう

僕は今まで一度も
見たことがない星に
心を奪われていた

キレイで
しょ





私は人間を特殊な方法で
星に閉じ込め
理想の世界を築こうと
しているの

輝く星は
すべて人間
だったの



人間
だった
!!



あなたにはそうね
ブラックワールドが
お似合いだわ



でもあなたは今まで
ブルースターにした
タイプとは違うわ
あちらにいる二人が
間違えて私の所へ
送ってきたのね

私のワールドには
あなたは似合わない
だからあなたを
別のワールドへ
転送するわ





いいえ魔女でも人間でもないわ
私は神なの
新しい世界を
創造するために
生まれてきたのよ



そんなこと出来る
あなたは
魔女か!?



あッ



私を
バカに
したな



アハッあんたが
神だって
笑っちゃうぜ



私の
ステッキを

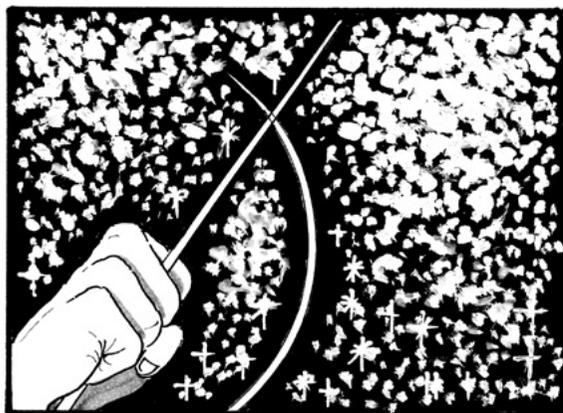
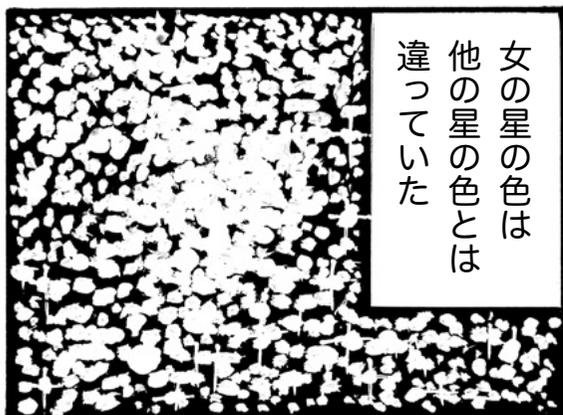
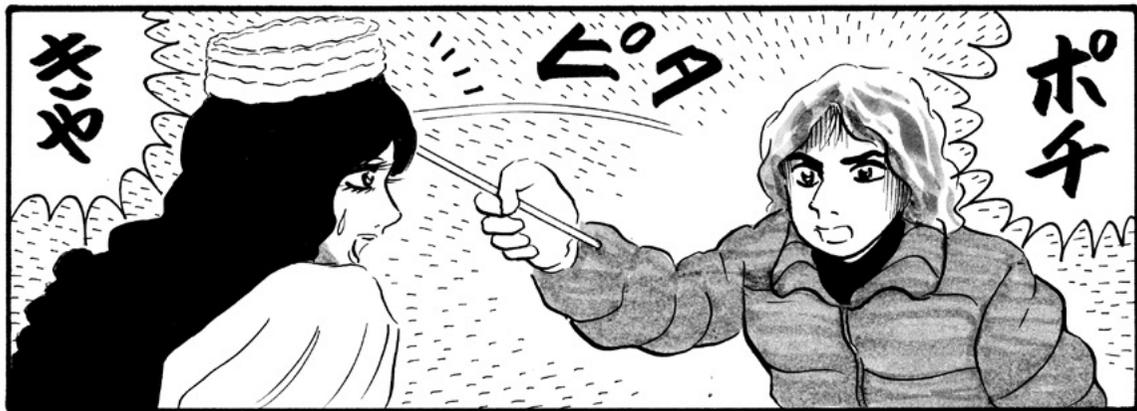
返せ

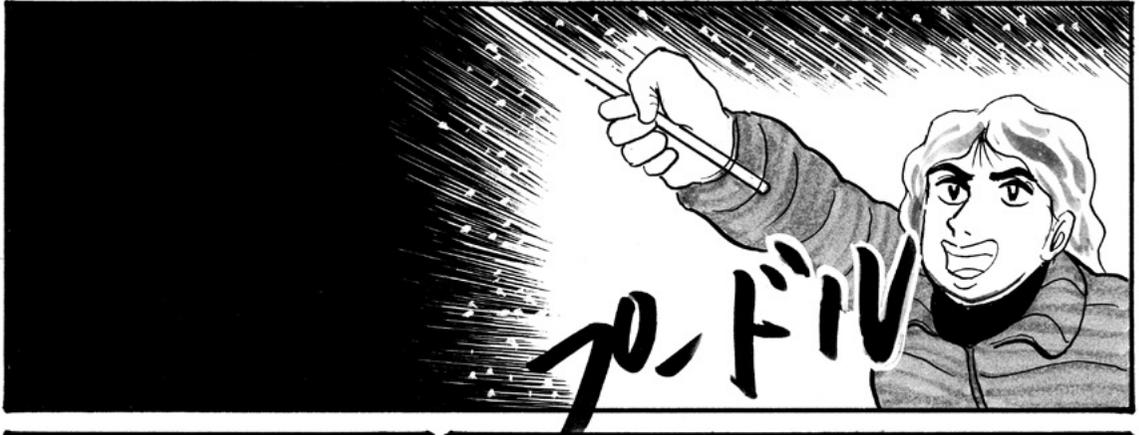


アハハハ
あんたをこれで
ブルースターに
してやっから



私以外そのステッキを
持つことは許さ
ない!!





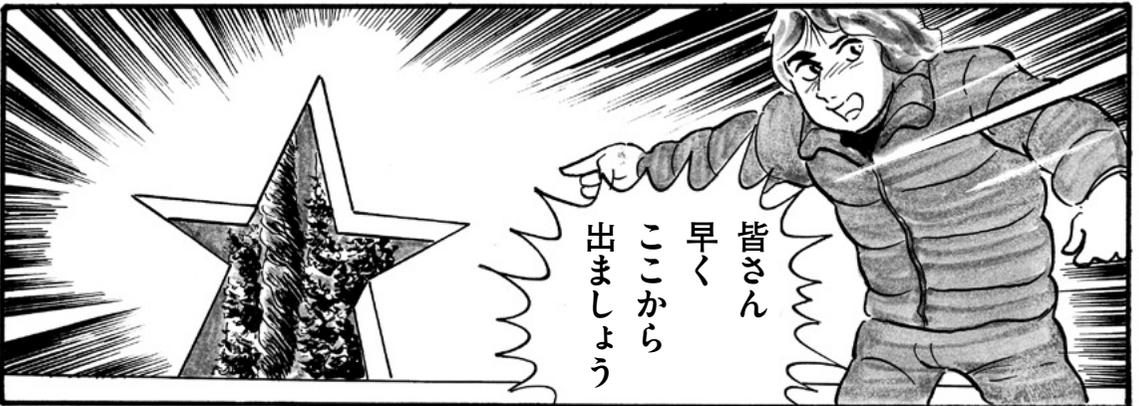
信じられん
人間に戻って
いるぞ



すると徐々にだが
ブルースターに
されていた人間が
元の人間に戻って
いった



たすけて
くれて
ありがとう



皆さん
早く
ここから
出ましょう



人間に戻って
いるんだ？



さあ我々を
元の世界へ
戻すんだ
さもないと
二人とも星に
するぞ



そして女性を
このステッキで
星にして
やったぜ

なんだって
我々の神を
星にしたって



あんたらの神と言う
女性から聞いて
すべて人間に
戻したのさ



最終ページだって
おっ!!このページだ

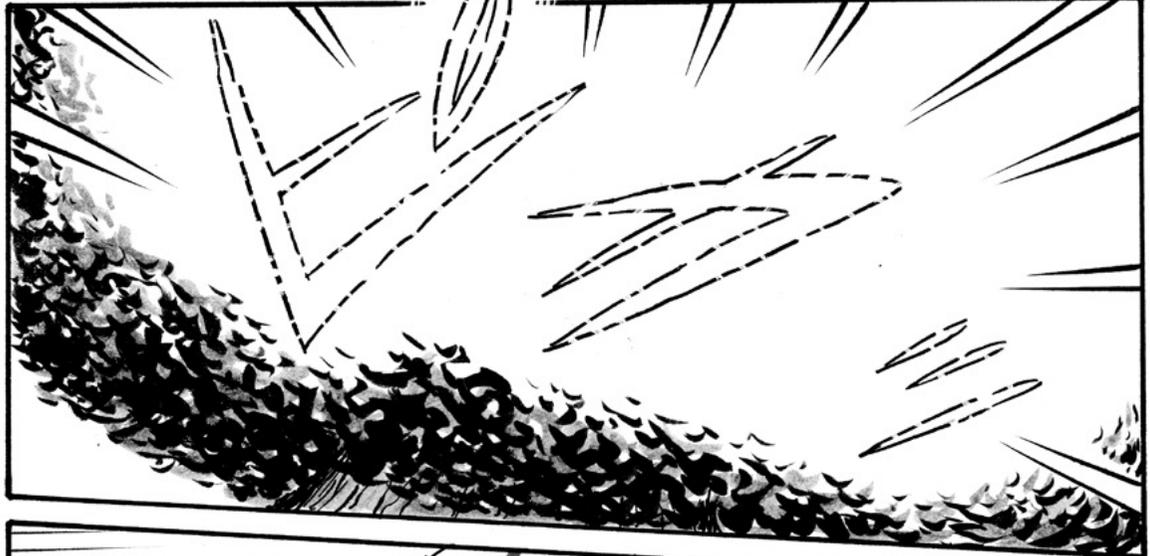
パン

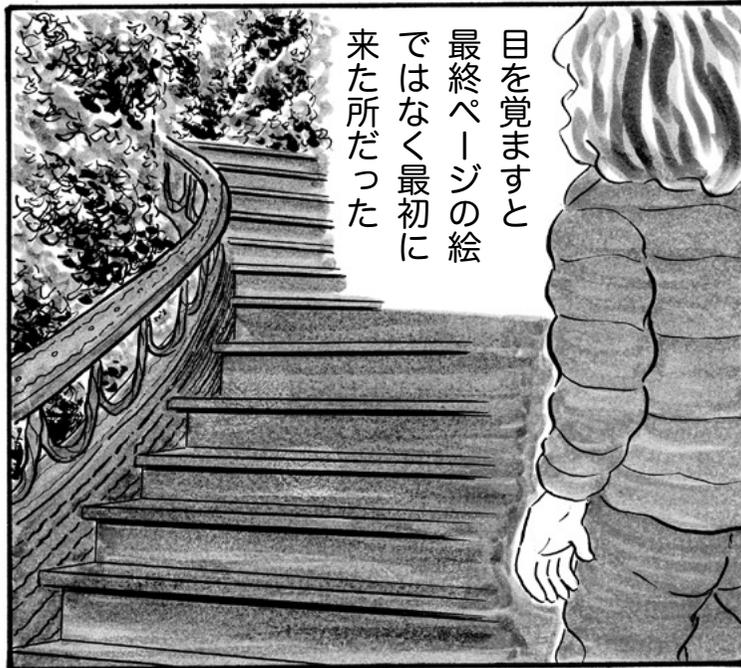
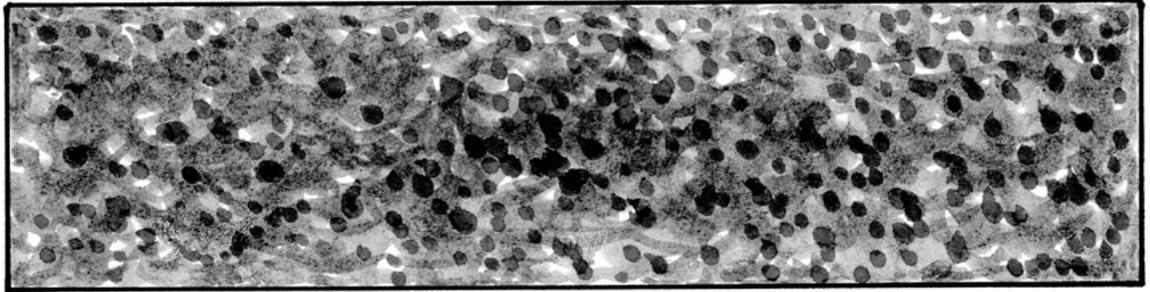


分かった元の
世界に戻る方法は
最終ページに

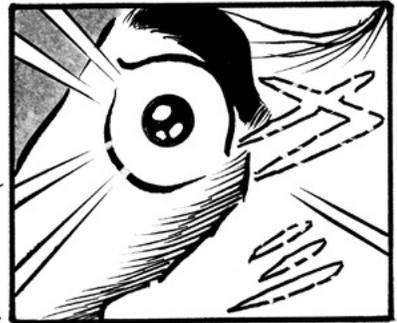
ステッキをかざし
ブルドックと
唱えれば
いいんだ

ブルドック





目を覚ますと
最終ページの絵
ではなく最初に
来た所だった



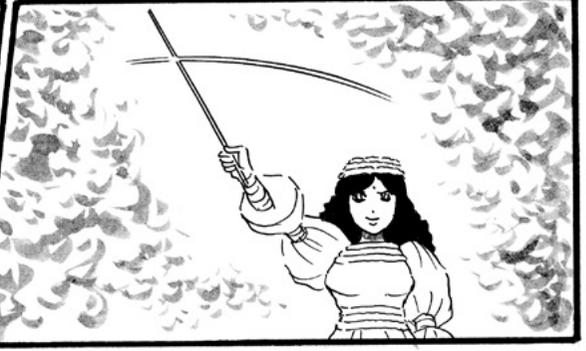
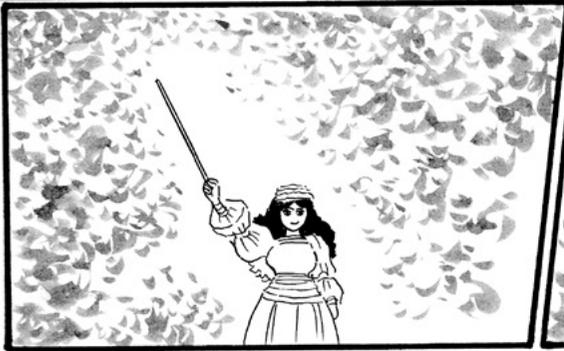
オホホホ
本当ねえ
どこへ行ったの
かしらねえ

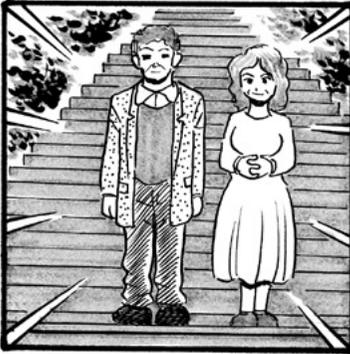


あれ
皆の姿が無い
どこへ行った!?

どうなってんだ
呪文は嘘
だったのか







分かったかしら
木に埋め込まれて
いるのは先程まで
ブルースターだった
もと人間達よ

あちらを
見て



あなたをこちらへ
導くために苦勞
したわ

ちよっとした
芝居など
してね



何故ここに
いるの!?



やあ
息子や
死んだ
親父と
お袋!?

